

# DW-5

## 【FOR MATING PLUG CABLE】

Part No. PLUG: 20598-0\*\*T-02 RECEPTACLE: 20597-0\*\*E-02

### Instruction Manual

2	S24320	August 1, 2024	E.Tanaka	M.Muro	T.Masunaga
1	S17216	March 23, 2017	Y.O		TAK
0	S14232	June 13, 2014	Y.Fukumoto	K.Narita	T.Takano
Rev.	ECN	Date	Prepared by	Checked by	Approved by

弊社製コネクタ DW-5 CONNECTOR を安全に御使用頂くことを目的とし、コネクタの挿入・抜去の手順及び注意点を記述致します。

【対象コネクタ名称・型番】

◆ケーブル側コネクタ

名称： DW-5 PLUG

型番： 20598-0\*\*T-02

◆基板側コネクタ

名称： DW-5 RECEPTACLE

型番： 20597-0\*\*E-02

“\*\*”には各芯数番号が入ります。

【コネクタ各部名称】

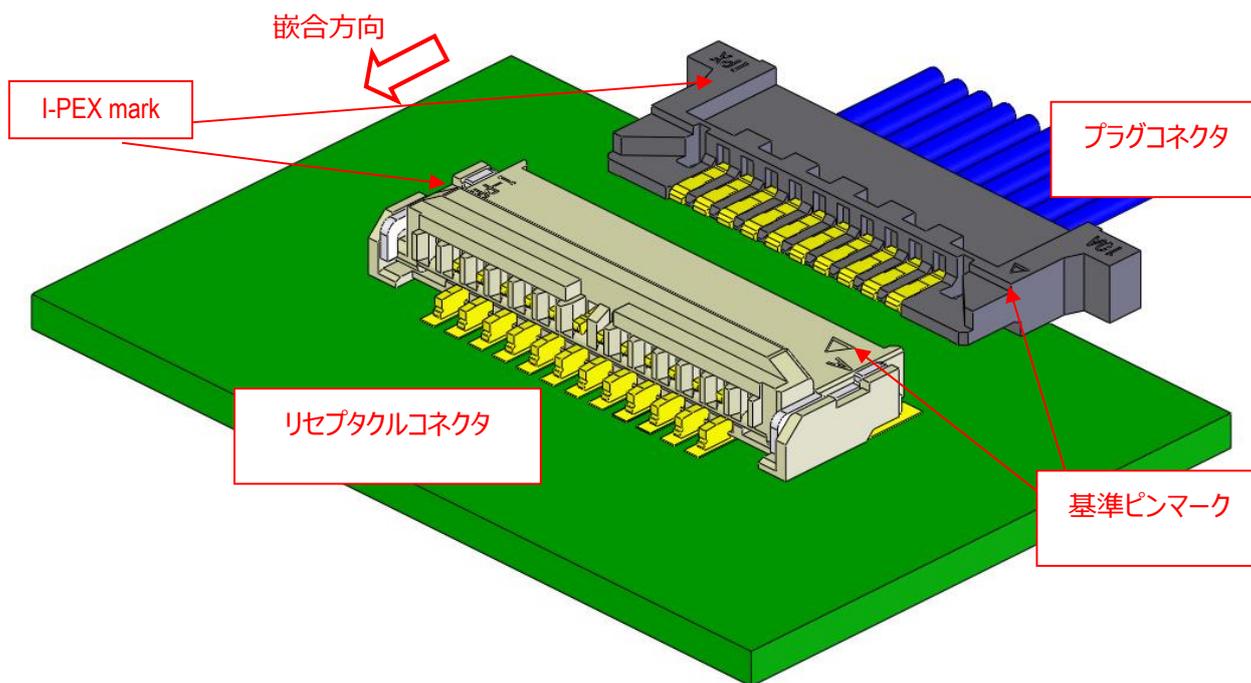


図 1

## 【コネクタ挿入手順】

- ① 図2の様に、プラグコネクタをレコナルヘセットします

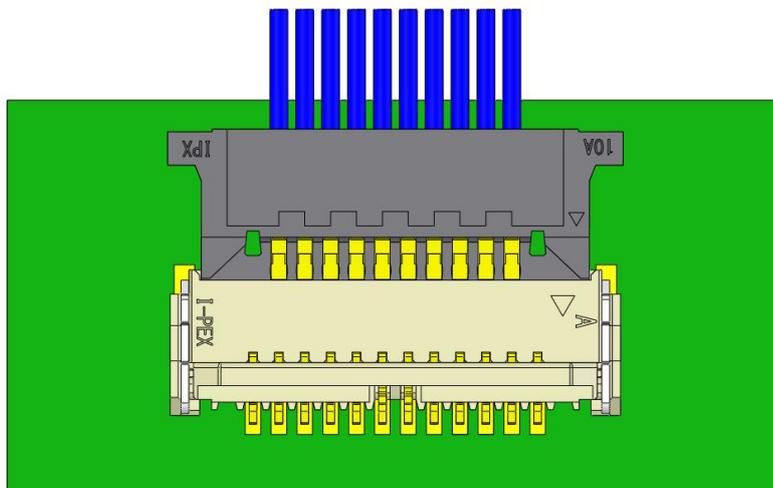
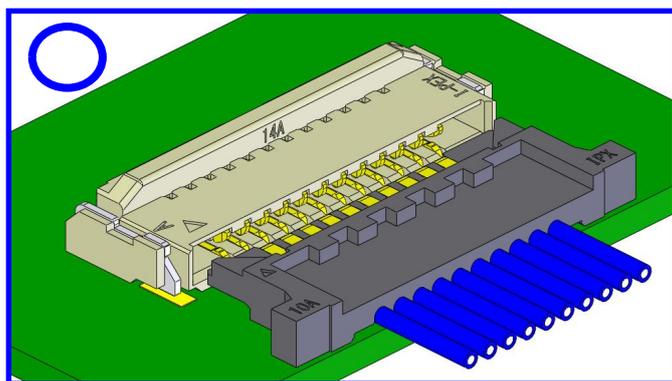


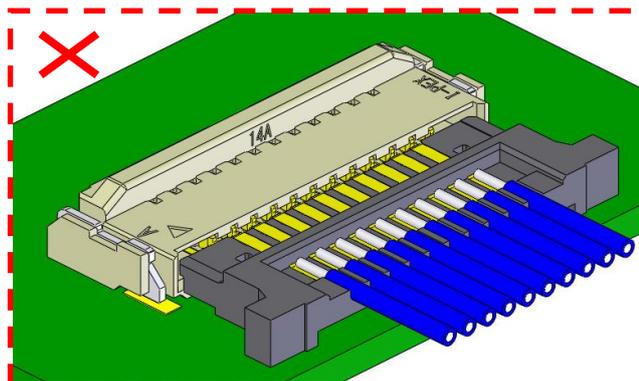
図2

### <注1>

プラグコネクタの正しい嵌合は図2(a)の様に結線部が下側になります。図2(b)の様に結線部が上面になる向きは誤嵌合になります。



(a) 正しい嵌合



(b) 誤嵌合

- ② 図 3 の様に、プラグコネクタの両側を水平に押し、プラグコネクタの先端とリセプタクルの間口の位置関係が図 4 (a)の様になると嵌合完了となります。

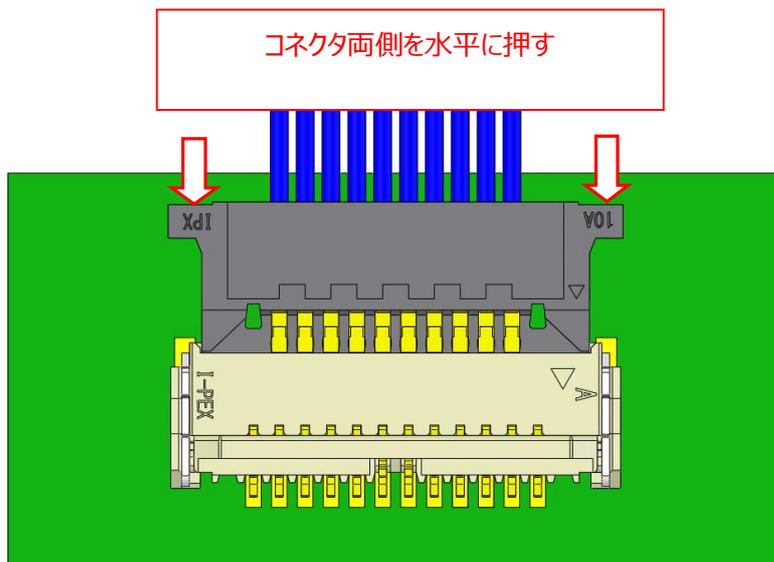
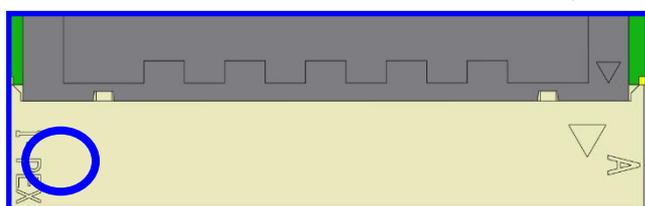
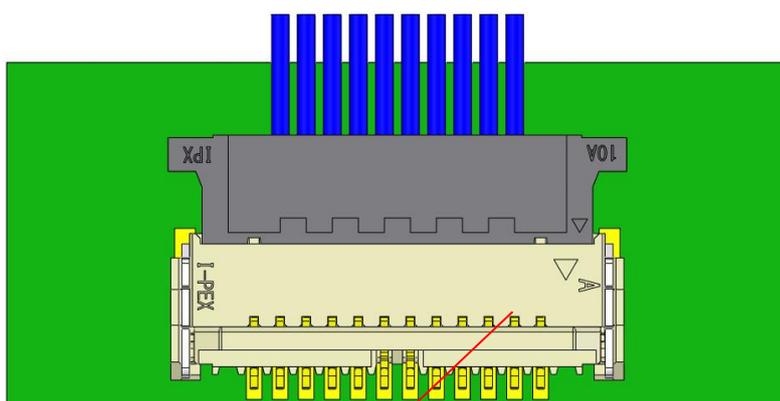
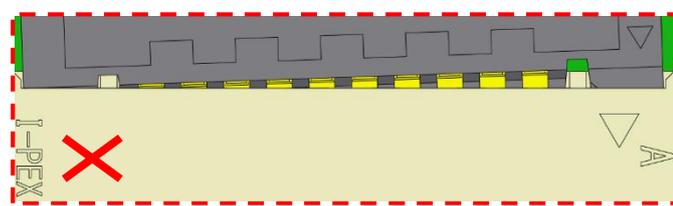


図 3



(a) 嵌合完了



(b) 嵌合不完全

図 4

## &lt;注 2&gt;

挿入時の水平方向のこじり角度は、5°以下でお願い致します。  
5°以上での挿入は、コネクタ変形の原因となります。

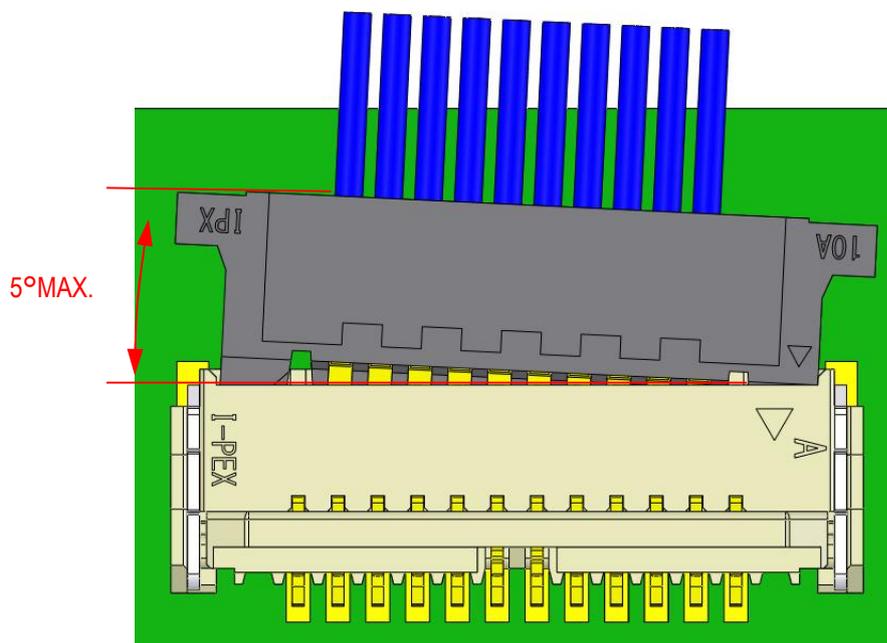


図 5

## &lt;注 3&gt;

挿入開始時の垂直方向のこじり角度は、5°以下でお願い致します。  
5°以上での挿入は、コネクタ変形の原因となります。

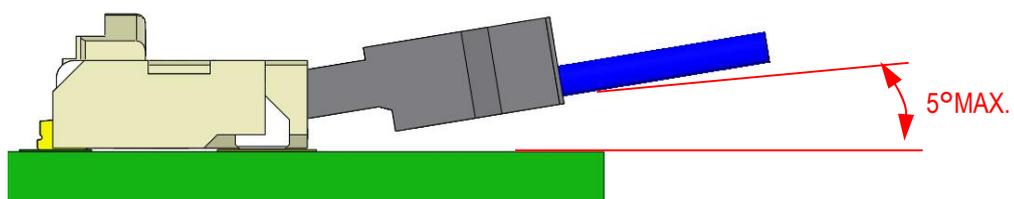


図 6

③アクチュエータの中央部を PLUG 挿入方向から水平に、指の腹で押して下さい。

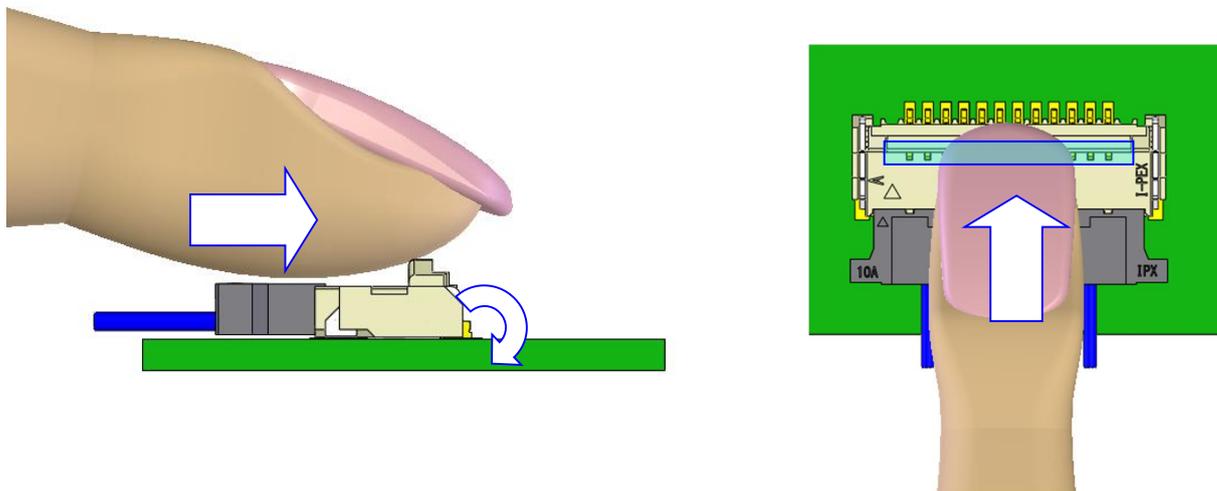


図7 アクチュエータのロック方法 (OK)

《注4》

- ・アクチュエータをロックする際、アクチュエータを上から押さえつけないで下さい。  
また、爪でアクチュエータをロックしないで下さい。  
アクチュエータが破損し、機能を損なう恐れがあります。

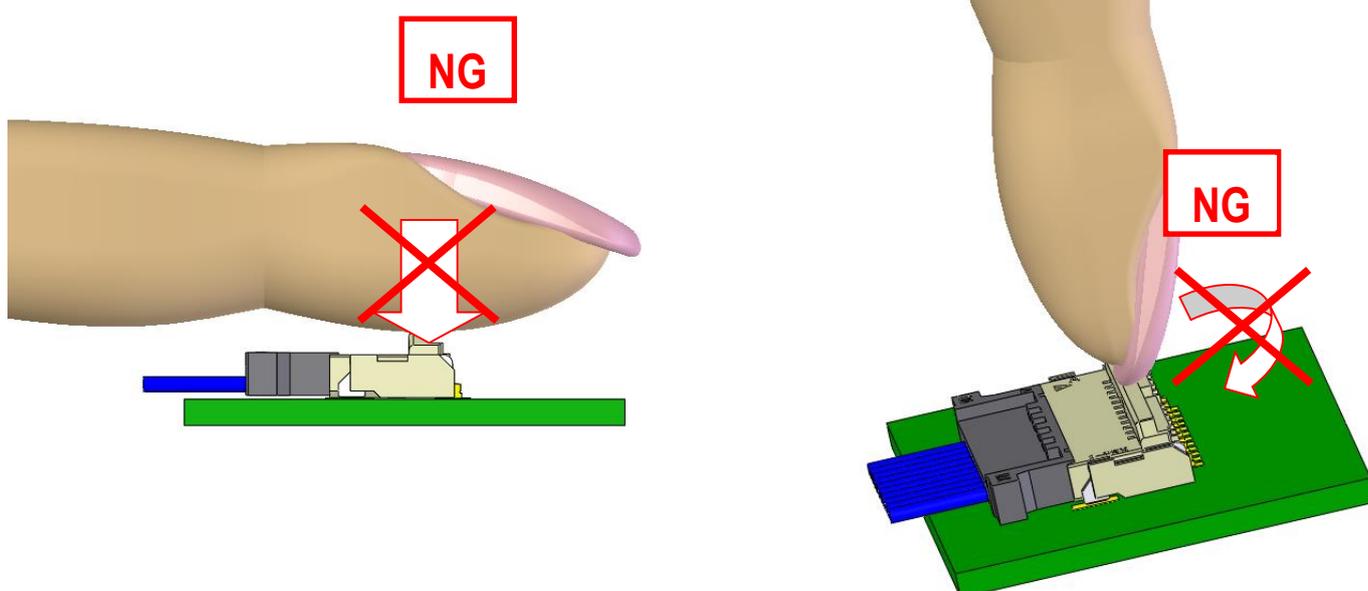


図8 アクチュエータのロック方法 (NG)

- ・アクチュエータの片端部で操作をしないで下さい。  
アクチュエータの破損や不完全ロック（半ロック）になる恐れがあります。

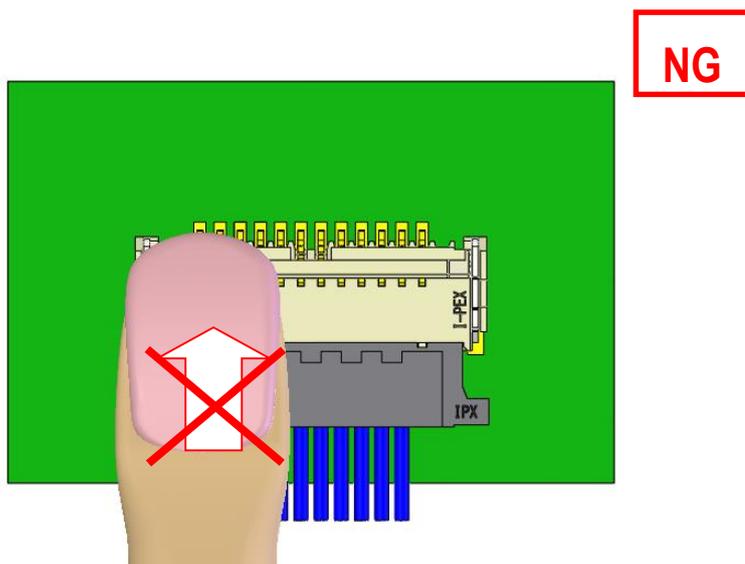


図9 アクチュエータのロック方法 (NG) / Fig.9 To lock actuator (NG)

- ・ロック後にハウジング上面やアクチュエータを 10N 以上で押さえつけないで下さい。  
コネクタ破損や FPC ヘダダメージを与え、導通不良になる恐れがあります。

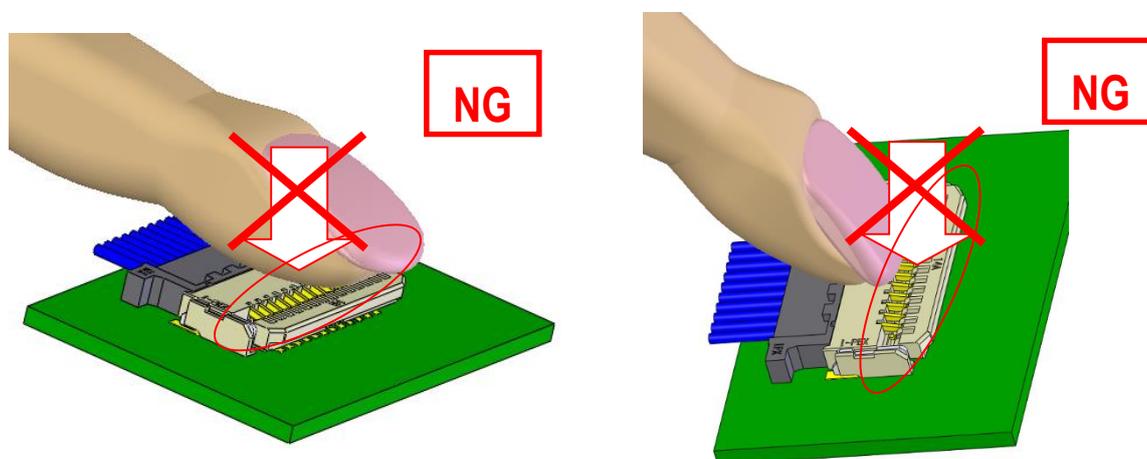


図10 アクチュエータのロック方法 (NG)

- ・ピンセット等の鋭利な工具を使用して操作しないで下さい。コネクタを傷つける恐れがあります。

## 【コネクタ 抜去手順】

## ① アクチュエータ解除方法

アクチュエータの中央部を上へ軽く跳ね上げる様に引き上げて下さい。

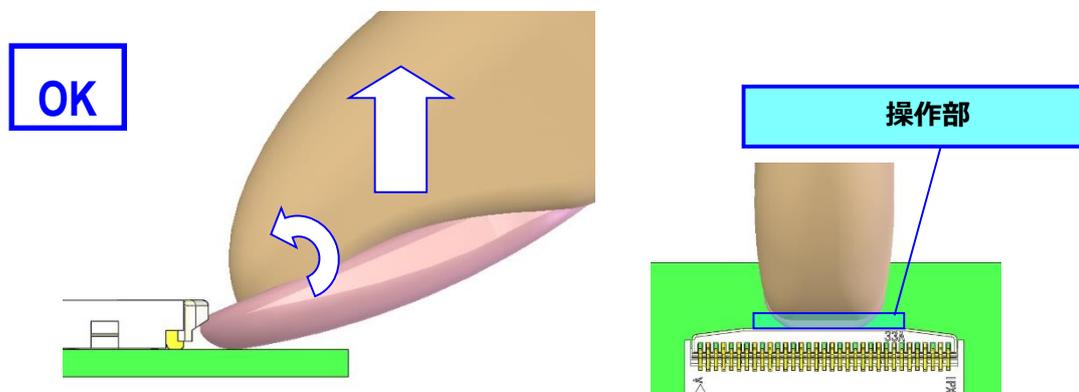


図 11 アクチュエータの解除方法 (OK)

解除操作が困難な場合は、下記のような JIG を使用し、アクチュエータの中央部を上へ軽く跳ね上げる様に引き上げて下さい。

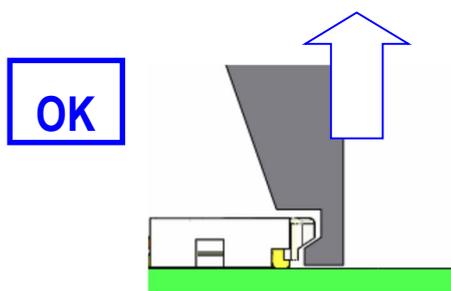


図 12 アクチュエータの解除方法 (OK)

## 《注 5》

- ・アクチュエータを解除する際、FPC 嵌合側に押さえつけないで下さい。  
アクチュエータの破損やコンタクトの変形が発生する恐れがあります。

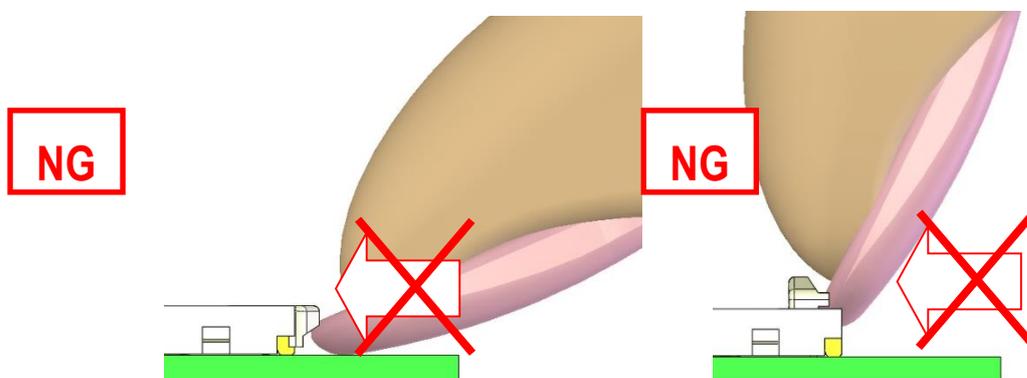


図 13 アクチュエータの解除方法 (NG)

- ・アクチュエータの片端部で操作をしないで下さい。アクチュエータが破損する恐れがあります。

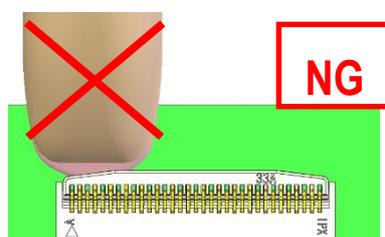


図 14 アクチュエータのロック方法 (NG)

- ・ピンセット等の鋭利な工具を使用して操作しないで下さい。コネクタを傷つける恐れがあります。

- ② PLUG の両端を図 13 の様に基板と平行に引っ張り、抜去を行う。

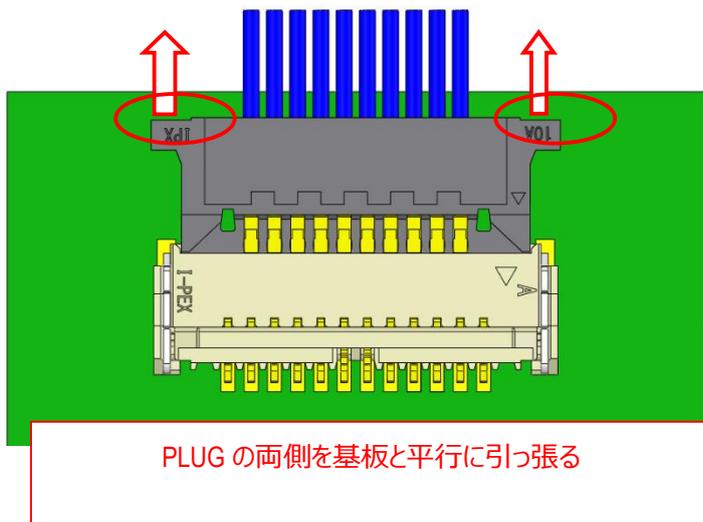


図 15 PLUG の 抜去方法

<注 6>

抜去時の水平方向のこじり角度は、5°以下でお願い致します。  
5°以上での抜去は、コネクタ変形の原因となります。

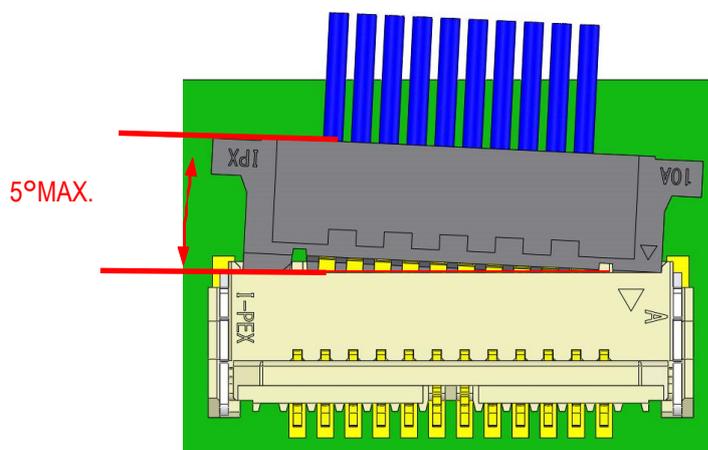


図 16

## &lt;注 7&gt;

ケーブルを引っ張っての抜去は行わないでください。  
ケーブル断線の原因となります。

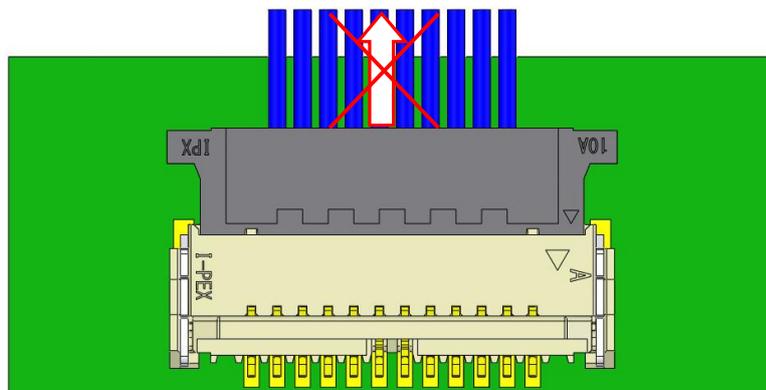


図 17

ケーブル引き回しの際は、コネクタ及びケーブルに過大な力が掛からない様、ご注意願います。  
コネクタ破損及びケーブル断線の原因となります。

常にコネクタに力が掛かるようなケーブル引き回しは、ご遠慮願います。  
嵌合不良及びコネクタ破損の原因となります。

## «注 8»

・アクチュエータクローズ状態で PLUG を抜去しないで下さい。PLUG を破損させる原因となります。

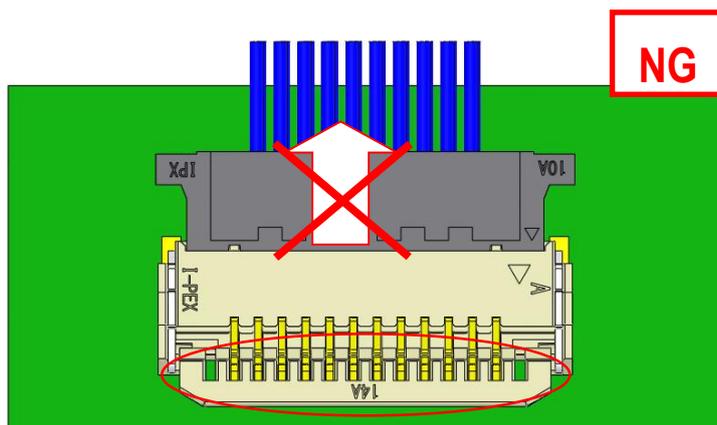


図 18 PLUG の抜去方法 (NG)

※PLUG がダメージを受けると、PLUG 保持力が低下致しますので新しい PLUG に交換してください。